



1. 趣旨

地域が抱えている課題を自分ごととして捉え、中学生の視点で、その解決に向けて取り組む体験活動を通して、課題解決力を養うとともに、持続可能な社会づくりに向けて貢献できる人材の育成を目指す。

2. 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

3. 協力（サポーター）

静岡大学未来社会デザイン機構、御殿場青年会議所

御殿場市教育委員会、小山町教育委員会、御殿場市未来プロジェクト課 など

4. 期日 令和3年7月～11月 全8回 詳細は『8 日程および活動内容』参照

5. 会場 国立中央青少年交流の家及び御殿場市周辺地域

6. 対象および募集人数

中学生 24名程度

※『8 日程および活動内容』に予定されている全8回に参加できることが望ましいが、参加できない日があっても構わない。

※グループワークなどのプログラムによっては、オンラインでの参加も可とする。

7. 参加費

各日300円 ※①（傷害保険料1泊2日分 211円、雑費 89円）+α ※②

※① 連続した2日間（7/22-23・10/23-24）は両日で300円

※② 1日目（7/18）は、野外炊事費用 700円程度

宿泊が伴う時は、2,130円（食費3食分 1,830円、シーツ使用料 300円）

8. 日程および活動内容

【地域を知る、地域課題の解決策を考える】

1日目 7月18日（日） 顔合わせ、チーム作り（炊事体験など含む）
地域の魅力や課題を考える

2日目 7月22日（木） 地域の魅力創造を実践例から考える（講話）、地域の魅力や課題を知る（フィールドワーク）、地域の魅力や課題をまとめる

3日目 7月23日（金） 地域課題の解決策を考える、仮説を検証する（フィールドワーク）
検証結果を踏まえて新たな解決策を考える

4日目 8月29日（日） 地域の魅力や課題について考える（ワークショップ）
地域課題の解決策を考える、SDGsについて学ぶ

【地域の魅力を創造し、発信する】

- 5日目 9月26日(日) 地域の魅力を創造・発信するための準備
- 6日目 10月23日(土) 地域の魅力を創造・発信するための準備
- 7日目 10月24日(日) 地域の魅力を発信する

【まとめ：持続可能な社会づくりに向けて】

- 8日目 11月7日(日) 1年間の活動のまとめ、※活動修了証授与

※1年間における探究活動と、地域貢献に取り組んだことを証明する「活動修了証」を、国立中央青少年交流の家所長名で発行する。

9. 申込受付期間 及び 申込方法

【申込期間】 令和3年6月7日(月)～6月25日(金)

- ・グループ(3名以下)での申し込みも可能
- ・応募多数の場合は抽選

【申込方法】 右記QRコードよりお申込ください。



当事業は、「教育事業編：新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」(当施設ホームページに掲載)に則って運営いたします。必ずご一読いただき、ご理解いただいた上でお申し込みください。

10. その他

- (1) 持ち物などの詳細な内容は、事業の1週間前までにご案内いたします。
- (2) 本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。
なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。
- (3) 体調不良となった場合は、ご帰宅いただくこともありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- (4) 天候や新型コロナウイルス感染拡大の状況により、活動内容が変更または延期等となる場合もございます。予めご承知おきください。

11. 問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL: 0550-89-2020 FAX: 0550-89-2025

E-mail: fujinosato-kss@niye.go.jp

担当: 市川・前田・柴谷・川合

2015年の国連サミットで、全会一致で採択された2030年までの国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目指し、国立中央青少年交流の家は、率先して推進活動に取り組んでいきます。

